

# 平成 30 年度 第 1 回木曾川水系流域委員会 議事要旨

日 時：平成 30 年 6 月 26 日（火）10:00～12:00

場 所：AP 名古屋 名駅 8 階 B+C+D ルーム

## 1. 開会

## 2. 挨拶

## 3. 議事

### (1) 規約改正

- ・本委員会をもって、規約改正を了承。
- ・新丸山ダムの建設事業に関する事業再評価の審議をするため、事務局に新丸山ダム工事事務所を加えることを了承。
- ・木曾川水系連絡導水路事業に関する事業再評価の審議をするため、説明者として他機関である独立行政法人水資源機構を、臨時に事務局へ加えることについて了承。

### (2) 木曾川水系河川整備計画の点検等

（整備計画の点検等に係る主な論点、水防災意識社会の再構築に向けた取り組み、  
木曾川 起・小信中島地区の堤防整備事業、愛西市かわまちづくり計画の登録）

主な意見は以下のとおり。

- ・緊急速報「エリアメール」を取得できる地域住民のカバー率はどれくらいか。
- ・「エリアメール」により、浸水想定範囲内の住民に対し、どの程度、避難を周知できるのか事務局として把握しておく必要がある。
- ・現行の整備計画に、水防災協議会や想定最大規模の降雨による洪水浸水想定を記載する必要がある。
- ・既往の浸水想定範囲に対する拡大範囲等、流域委員会に資料を提示すること。
- ・【木曾川 起・小信中島地区の堤防整備事業】P. 1 の堤防整備の箇所、昨年の流域委員会資料の整備防備状況では、未完成の堤防がかなりあった。整備計画の対象として本地区が入っているが、他の未完成の地区に比べて何か緊急性があったのか。
- ・未完成堤防の箇所と整備計画の整備箇所のズレについては、整備計画変更の見直しのポイントとなる。
- ・起・小信中島地区の整備理由については、パラペットの老朽化だけでなく、整備計画目標流量に対する治水対策の必要性等の観点でも説明が必要。

- ・堤防整備範囲にワンドがみられるが、工事による環境への影響はないか。また、パラペット工事による景観への影響はないか。
- ・整備計画に関するだけでなく、様々な情報を提示され、多面的に議論することで、実務で参考になればよい。
- ・平成6、7年頃に起地区のワンドが作られたものであり、水の流れが堤防に近づいていることから、護岸を整備できないなどの課題を整理して提示すること。
- ・ケレップ水制の変遷は、干満の影響、地盤沈下の視点も考慮する必要がある。
- ・今後も流域委員会において取組状況を紹介して貰いたい。

### (3) 木曾川水系連絡導水路事業の再評価

- ・対応方針（原案）「今回の事業再評価の結果としては、平成31年度以降も新たな段階に入らずに水理水文調査等の環境調査を継続しつつ、引き続きダム事業の検証に係る検討を進めるものとする。」を了承。

主な意見は以下のとおり。

- ・木曾川の取水制限が平成20年以降にあまり発生していないのは、降雨の傾向とも関係している。決して将来的に楽観できるものではなく、降雨については気候変動も踏まえた想定が必要であり、連絡導水路は備えとして有効と考えられる。
- ・木曾川水系連絡導水路事業が再開されるとしても、完成までの間は渇水に対する被害をどのように回避、軽減するのか。過去に実施した対応で十分なのか、水利用の再配分などもっと踏み込んだ対応が必要なのかを考える必要があるのではないかと。

### (4) その他

（「リスク管理型の水の安定供給に向けた水資源開発基本計画のあり方について」答申の概要、長良川遊水地について）

主な意見は以下のとおり。

- ・リスク管理の検討を行うにあたり、まずは渇水など過去の危機時にどのような対策がとられどの程度の効果があったのか、どのような課題が残ったのかなどを総括的に評価しておく必要があるのではないかと。
- ・リスクは自然災害や施設の老朽化、気候変動等による異常気象など多岐にわたり、対応も水道事業者や河川管理者、水資源開発担当者など立場が異なる者の連携が重要となるため、検討にあたっては、論点を整理したうえで議論を深める必要があるのではないかと。
- ・リスク管理の検討を行うにあたり、各河川の水利用がどのように行われ、上下流方向の水収支がどのようになっているのか、例えば平成6年の渇水では具体的にどのような状況だったのかなど、国管理区間以外も含め検証しておくことが大事だろう。
- ・水利用の課題などについて整理したものを提示してもらい、木曾川水系流域委員会で議論していきたい。

- ・昨年度の流域委員会では、遊水地の具体的な整備箇所を絞るということであったが、地元意見を集約した際に懸念事項や課題事項が生じた場合は、相談すること。

4. 挨拶

5. 閉会